

信州大学農学部  
2006. 8. 31.

農学部で8月28日、小宮山学長をはじめ、南箕輪村村長、伊那市助役等の地元自治体や企業、大学関係者約40名が出席して「農学部食料保健機能開発研究センター」の開所式が開催されました。



(写真) 開所式： 小宮山学長  
唐澤農学部長／大谷センター長



「農学部食料保健機能開発研究センター」は、外部機関と共同研究や開発研究等を推進し、農学部の教育向上、地域社会における技術開発と技術教育等の振興を目的に設置したもので、農学部の産学連携の拠点となります。

唐澤学部長は「センター開設で、高度な分析機器を活用・開放して共同研究を推進していく拠点ができた。今後、産学官や地域との連携を一層深めていきたい」と挨拶。出席者は式後、センターを見学し、設置されている各種の分析機器の説明をセンター教員から受けました。

また、長野県工業技術総合センター食品技術部門の大日方主任研究員による「県工業技術総合センターにおける機能性食品開発支援事例の紹介」と題した記念講演会も開催され、出席者からは、センターの今後の研究成果に期待の声が寄せられました。



(写真) 農学部食料保健機能開発研究センター。施設と分析機器の説明を受ける出席者。